

ブアンテナが、モロに実用域にあるSWR値だと、判った時の嬉しそうな顔は、特筆ものでした。

昼時が近づいて、JH1GENの出番、7M3OMF手作りの木炭が活躍します・・・煙ちらほら

寸胴鍋の底に焼け焦げの痕・・・いいんだよ 何でもありだよと 強引に野菜を炒めて挽肉をゴツテリ・・・

なんか順番を間違えたかな？まあヨシとして、・・・なんせ前日の第三土曜会に初参加して、裏のスーパーが閉店する間際の時間で食材調達さらにOAMに参加しながらの下拵えなどで、一杯の状態でした・・・。

シェフっ腹減ったぞっ まあだぁーとはTTHの島村さん、もうチョイヨと応えながら鉄板の上を、(この鉄板は一人で持つのは容易じゃないよという代物なのです。)手際よく捌いて、デキタヨっつと声をかけ、各局ともボリュームに仰天と満足。

メインは狸汁、味噌仕立てで 具材が訳判らない怪しい汁物。ここで具材を明らかにしましょう。先ずジャガイモ ニンジン 舞茸 蕨 国産の肉豆腐 油揚げ 生姜 長ネギ 蒟蒻 筍 と 岡山の赤味噌 高松の白味噌を合わせて狸汁としました。全部、国内でとれた食材だけを厳選しました。だから毒は入っていないという安心メニュー

です。サブで焼きうどん、本場四国のうどんと野菜がゴツテリの ヘルシーメニュー 挽肉たっぷりメタボ対応になっていなかったり、・・・誰も旨いと言わなかったような気がするのですが気のせいかなぁ・・・満腹だぁという感想は小耳に挟みましたがねえ・・・。

ともかく、楽しいひと時を御一緒に過ごさせて頂きまして、難うございました。シェフの腕・・・とどかずでゴメンネ・・・反省。

今回の収支決算 収入1000*8=8000
支出 7949 内訳 食材 6749 飲料 1200 差額5

差額の51円につきましては、当初の予定通り、クラブの収入としてJH1TVYさんに付託させて頂きまして、ご参加各局 御了解下さい。かなり日焼けしましたが、心地よいひと時を過ごさせて頂きました。各局TNX

参加エントリー局 順不同 JG1DVY
7L3UQW 7L1TTH JA1ETB
JJ1GRK JA6AZE JF1MZQ
JH1GEN

ドタンバ参加局 JA1VRZ JL1GYB
功労賞 JF1MZQ

担当幹事の個人的偏見に由来するものです。

移動運用担当 JH1GEN

習志野台地区防災訓練とネットワーク構築テスト

6月8日(日)、北習志野8号公園にて、9:30~12:30の予定で実施されました。

本年度も、アマ無線公開運用は、ネットワーク構築テストの基地局を兼ねて実施しました。

自治会側の訓練としては、昨年と同様に起震車、煙中避難訓練、人口呼吸、AED実演、初期消火訓練などが行われました。また、参加団体は、市防災課、東警察署、東消防署、消防団、NTT、習志野台3丁目、習志野台5丁目町会、みゆき町会でした。

連絡会では、阪神淡路大震災のアマ無線のビデオ



才上映 (JA6AZE, JH1MQC)

及び会場をキー局とした、オンエアミーティングの実施 (7L3UQW) ならびに、1200MHzハンディとパソコンを組み合わせたSSTVの実演 (JA1QC、JL1GYB) などを行いました。

また、50MHzではEスポによる交信ができました。

参加各局としては、フル参加は

JA1QC, JA6AZE, JH1MQC, JK1PIK, JL1GYB, JS1IWA,

7L3UQW の7局、途中までの参加は JS1GXN, 途中からの

参加は JA1PUN, JE1FTN, クラブ員では JA1DDF でトータル

11局の参加でした。

担当 JH1MQC、JK1PIK、JS1IWA



写真提供 JL1GYB

クラブ備品移動完了

夏見の旧勤労青少年ホームが改築?のために同所に保管の当会(クラブ)所有の無線機器等を市役所屋上の倉庫に移動することになりました。

移転は、2008年5月30日、霧雨の降る中10時集合、市役所(防災課)からの5名のお手伝いを得、クラブからの5名の手伝いとあわせ、合計10名で行いました。

作業開始と同時に降っていた雨も止み、旧勤労青少年ホーム3階からの運び出し、市役所から提供いただいたトラックへの積み込みと、順調に進み11時に、旧勤労青少年ホーム出発。

市役所到着11時30分。直ちに、市役所地下1階の駐車場から屋上エレベータ機械室隣のクラブ室まで搬送し、格納。全ての作業完了は12時30分と予定通り終了しました。

クラブからの手伝い局は、JA6AZE(説田会長)7L3UQW(松尾副会長)JH1MQC(高城副会長)JA1QC(山本理事)JL1GYB(木村)の5名でした。

写真情報提供 JL1GYB



行事案内

- 1) 第2回移動運用 予定日9月7日は都合により中止とし、新たに計画します。
- 2) 技術講習会 予定日10月19日の詳細は、編集時点で未定です。ともに分かり次第、ご案内します。

FARE-Net ロールコールの試行について

オンエアミーティング担当

7L3UQW 松尾 保

毎週土曜日と日曜日に行っている JJ1YNA オンエアミーティングは、その参加メンバーが少数でしかも固定化してきております。そこで毎月1回メンバー（FARE-Net, JJ1YNA, JR1YUX）の点呼（ロールコール方式）のオンエアミーティングを来年3月までの予定で試行してみることとしました。

第1回ロールコールは7月6日（日）10時から実施しました。FARE-Net メンバー84局中、参加局は15局でその参加率は約18%でした。これはPR不足もさることながら、日頃メンバーの皆さんがいかに電波を出していない事の証明でもあります。トランシーバーの作動チェックの意味からも、是非月1回はチェックインしましょう。

(1)趣旨 ロールコールは少しでもメンバー参加率の向上を目的とし、有事災害時における効率的な情報伝達の訓練の場としたい。また、市内の未加入局へ呼びかけることによるメンバーの増大を計りたい。ロールコールの所要時間は20分を目標に、長くても30-40分以内に終わらせるようにし、多忙が日常化したメンバーの参加率を向上させることとしたい。

(2)ネットコントローラー JA1BWA 高橋 敏夫

(3)実施日時 毎月の第1日曜日の10:00からロールコール方式でメンバーの点呼を実施する。

（第1日曜日の都合が悪い場合は第2日曜日とする。）

(4)周波数：432.76 混信なら DownQSY

(5)メンバーの点呼順について、当面はFARE-Netメンバー + （ワッチ中のYNA/YUXメンバー）とし、最後に市内及び近隣のメンバー外の局に呼びかける。

(6)応答は、「ラージャー、自局のコールサイン」若しくは「こんにちわ、自局のコールサイン」のみとし、余計なことは言わない。（時間短縮のため。）

(7)ネットコントローラーは現在までのチェックイン局をアナウンスし、遅れたチェックイン局を受け付ける。

(8)インフォメーションタイムは、点呼が終わった時点で広報担当から、そして補足があれば会長、副会長、他担当幹事などが行ない質疑応答も行う。

(9)次にチェックイン順にもう一度マイクをチェックイン局に渡しファイナルを受ける。

事務局からのお知らせ

局免許の更新情報です。ここ半年以内に無線局免許の有効期限が切れる局は、（平成21年3月末日）次の通りですから忘れないで手続きをお願いします。

JF1UUG	JA1W0I	JL1FJB	JA1IWO	JK1FEM	JH1TVY
--------	--------	--------	--------	--------	--------

また、局免許を更新された際は、新局免許の写しを事務局宛てにご返送下さい。

写しの到着をもって更新の確認としています。写しを未提出の局は次の局ですから、至急送付願います。

7N1TCU	JF6FET	JN1XAB	7L2NWB	7L2USW	7N2SDA
7M4NBV	JN1MSM				

事務局 防災課 庄司

会員情報

7K2CWU 植田一さんが仕事の関係で移転されたことにより退会されました。

しかし、いずれ船橋に戻る可能性もあり、中野からも何とか電波を出したいと計画されているようなのでクラブ員として籍は残します。

インフォメーション

本年の総会において JA1BWA 高橋さんからの質問・要望について下記の通り、中間報告をします。

1) 非常通信連絡会規約の趣旨目的の項に電波法第74条の「非常の場合の無線通信」を挿入すべきではないか。

回答* 総会での発言は52条の4項ではなく同6項に変更すべきと受け取ったが、その後のメール及び直接の対話で74条を挿入すべきとの見解。

少し争点がずれるが、74条に絞る事としたが現在、調査検討中です。

2) YNAのオンエアミーティング役員の交代について、活動できない役員を活動できる役員に交代してはどうか。

回答* この件は会長に一任となっているが、新任はともかく現任の削除はしない方が良いと思われる。

よって、次期改選までは現状通りで行きたい。

3) 連絡会とYNAの横断幕について、そのフォントを変更すべきではない。

回答* 現在既に新しい物が出来ているので、当面これを使用する。紛失の物が見つかるまでは、これを使用し無駄な費用の出費はしない。

電波法、最近の話題について

JJ1GRK 高木

1) 法体系の整備

スパゲッティプログラムという言葉をご存知ですか?。ソフトウェアにどんどん機能を足して行って、結果的にプログラムがぐちゃぐちゃになった様子を表す表現ですが、実は電波法関連は正にスパゲッティ法令と言うべき状態となっています。これは総務省でも問題にしている、平成13年に電波法を根拠とした政令関係の条文を「電波法施行令」に統合し、無線局関連の通達、たとえば、「非常通信を目的としたアマチュア局の開設を認めない」といったものは「開設基準」として統合しました。

しかし、本当に整理が必要なのは「無線局運用規則」と「無線設備規則」です。運用規則はまだプロの通信がCWやFM音声主体だった頃のままですし、無線設備規則はもっと滅茶苦茶です。どんな状態か知りたい方は、無線設備規則37条を読んでみてください(WEBで読めます)。読むのが面倒なら、行数を数えるだけでも……。約千行、なんと、37条で始まる番号の条文には、アナログTV、全デジタル放送の条文が入っているのです。関連告示も多いのですが、多すぎる上に改正が頻繁で今はすぐに整理できないという状況です。でも、放置はできないので、現在整備の為に準備作業が進行中です。

2) スプリアス規定改正について

すでに、法は改正されていて、旧規格製品については、平成34年で使用禁止となることはご存知のことと思います。言い換えると、平成19年以前の製品は、規制に合致していることを改めて証明できない限り使えないということです。

さて、この規定改正は実はとても大きな意味を持っています。それは、旧機器が消えた時点で電波の高密度利用が開始できるのです。低い周波数から逡倍するタイプの SHF 機器、業務用のナローFM 機器、短波帯の真空管機器のようなスプリアスの出やすい機器は事実上使えなくなり、チャンネルプランや混信防止のガードバンド等の考え方も変更されます。なお、RZ-SSB を用いた放送連絡無線のように、すでに新しい考え方でチャンネル割り当てがされているものも出始めました。

3) パワー規制について

さて、スプリアス規定の改正に伴って、新しいパワー規制が始まる可能性が出ています。

というのは、旧規格のリニアアンプが皆使用不可になるためです。

現在、200W を越える無線設備は検査を受けないと運用する事ができません。昔、10W を越える無線設備がすべて落成検査の対象になっていた頃は検査の件数が多く、現在よりも検査を通すのは易しかったので、免許上は古い無線設備、実際は最近の無線設備で運用している局もあるようですが、平成34年以後は古い無線設備は使用禁止となりますから、改めて新しい設備に書類を変更する必要があるわけですが、しかもここで電波防護指針に基づく資料も要求されますから、簡単には変更検査が通らない可能性があります。

ところで、このところ行政の方向性が、「一律出力規制」から「必要に応じた上限」に変わりつつあります。十分必要性が説明された場合には高い出力を許可するが、一律ではあまり高い出力を許可しないという考え方で、ヨーロッパの CEPT の規制値を考慮すると、これが400Wになるのではないかという話が出回っています。つまり、EME の様にハイパワーを必要とすることをきちんと説明できるものを除くと、400W 以上の出力が許可されなくなる可能性があるわけです。すでに免許を受けた局については免許は継続されますが、平成34年以後は古い無線設備が使用不可となり、ハイパワー免許そのものが失効する可能性があることにも気を付けてください。

編集後記

夏号は、原稿の都合と私の都合で予定より遅れてしまい申し訳ありませんでした。

早めに取り掛かれればよかったのですが、今回は内容が少ないのですぐにできると見込んでおりましたところいざ取り掛かりとなると、疲れと寝不足で思考回路が動かない、また、土日は歯科治療と初孫誕生とが重なり病院通いが忙しく時間が取れなかったことです。年を重ねると無理が利かなくなり、疲れた、寝ようが先立ち、火がつかないと腰がうごかないようではまずいことです。

また、連絡会ニュースのPDF化ですが、紙ベースの原稿からワードに貼り付けまで終わりました。

スキャンしたときは、イメージデータに変換してあるので、どうしても垂直度が出ません。

ペイントショップで微妙な角度調整が必要ですが、読める程度に補正しました。

これを試しに、一号だけPDF化しましたが、元データがでかいのでFDD一枚分に収まる程度までは圧縮できるようです。紙ベースのニュース全てを揃えると、号数×約1MBになるようです。

発行 船橋市アマチュア無線非常通信連絡会 船橋市アマチュア無線クラブ 担当 JS1IWA